

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		循環バスめぐりんの運行				所管	都市づくり部 交通対策課					
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度						
	長期総合計画体系	[基本目標]							[事業開始]	平成13年度		
		[小 柱]							[終了予定]	- 年度		
		[施 策]										
	根拠法令等	その他	[法令等名]	台東区循環バス「めぐりん」の運行に関する協定								
	事業対象	一般区民等										
	事業目的	公共交通不便地域の解消を図る。あらゆる人々の日常的な交通手段として、地域内における自在な移動を支援し、街の活性化を促進する。										
	事業内容	区内の交通利便性を向上させるため、下記の3路線の循環バスを、日立自動車交通株式会社との協定に基づき運行している。 ・「北めぐりん」平成13年6月運行開始 一方向循環 一周約10km ・「南めぐりん」平成16年4月運行開始 一方向循環 一周約7km ・「東西めぐりん」平成18年4月運行開始 一方向循環 一周約14km										
委託の有無	一部委託	委託内容	運行委託									
補助金の有無	なし											
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度					
	活動指標	一日あたりの運行本数		(本)	150	150	150	150				
		乗降客数		(人)	1,365,572	1,431,123	1,356,133	1,306,768				
	決算額 (単位：千円)					102,583	159,032	143,633				
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)				11,701	9,163	11,078				
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)				5,671	9,014	4,299				
		その他のコスト (扶助費・補助費など)				96,912	150,019	139,334				
		総経費				114,284	168,196	154,711				
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)				3,044	5,093	0				
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)				0	0	4,790				
一般財源 (区負担額)				111,240	163,103	149,921						
前年度から改善した事項	安全運行を維持するため、前年度に引き続き、経年劣化の著しい車両の買い替えを行った。											
評価の視点	評価	評価の理由										
	必要性	4	従前の都営バス路線等では対応できない需要にきめ細やかに対応し、区民生活の交通利便性向上を図る。									
	効率性	3	車両の経年劣化などにより運行経費は増加しているが、安全運行や区内公共交通の利便性を考慮すると効率性は担保されている。									
	手段の適切性	3	これまでの路線拡大や車両の老朽化により、運行に伴う負担金は増加しているが、交通不便地域の解消や来街者の回遊性の向上など区内の交通利便性向上に寄与しており、現在の手段は概ね適切である。									
	目的達成度	3	区民のほか観光客にも広く利用されている。									
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 拡大改善維持縮小廃止・終了					
年間乗降客数は約130万人を超えているが、近年は減少傾向にあるため、乗降客数・運行収入の増を図る。また、さらなる区内の公共交通の利便性向上を図るため、新路線導入に向けた検討を進める。						拡大						